

2023年6月16日

株式会社ACSL

ACSL、国産小型空撮ドローン SOTEN（蒼天）専用上部カメラマウントの受注開始 標準カメラおよび光学ズームカメラに対応

- 国産小型空撮ドローン SOTEN（蒼天）専用の上部カメラマウントの受注を開始
- 床版とよばれる橋の裏面の調査や建物の天井、プラント工場のパイプラインなどの点検に活用が可能

株式会社ACSL（本社：東京都江戸川区、代表取締役 CEO：鷲谷聡之、以下、ACSL）は、本日より、国産の小型空撮ドローン SOTEN（蒼天）の専用オプションである「上部カメラマウント」の受注を開始しましたので、お知らせします。

■上部カメラマウントについて

上部カメラマウントを SOTEN（蒼天）に搭載することで、SOTEN（蒼天）専用カメラである標準カメラと光学ズームカメラを機体上部に設置することができます。

カメラを上部に設置することで、ドローンの真上側の撮影が可能となり、床版とよばれる橋の裏面の調査や建物の天井、プラント工場のパイプラインなどの点検に活用することができます。



上部カメラマウントを搭載し、標準カメラを設置した SOTEN（蒼天）

■購入について

ACSL の販売代理店よりご購入いただけます。販売代理店は製品サイトの「購入の流れ」ページよりご覧ください。

<https://product.acsl.co.jp/flow/>

SOTEN（蒼天）の詳細については製品ページをご覧ください。

<https://product.acsl.co.jp/product/post-369/>

【株式会社ACSLについて】 <https://www.acsl.co.jp/>

ACSL は、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AI のエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

以上